

生きがい

第 16 号

発行

公益社団法人

栃木市シルバー人材センター

広報委員会

平成30年2月15日



〈各地区のPR活動の様子〉

シルバー人材センター PR活動

本年度は各委員会の委員の方が新たに選任され、それぞれの委員会の活動が活発に行われております。その活動の一つとして、広報委員会・女性委員会、また地区役員や会員の方のご協力をいただき、各地域でのイベント開催時のシルバー人材センターPR活動が行われました。

イベント開催当日は天候良・不良もありましたが、多くの来場者の方にシルバー人材センターの存在や事業内容をアピールできました。地域によっては、PRと同時に折り紙教室や水ヨーヨー釣り・刃物研ぎなども行い、お子様連れの若い世代の方とも積極的に交流ができました。

今後は、襖・障子張りの実演を開催するなど、新たな活動を通してより多くの方にシルバー人材センターをPRしていければと考えとおります。皆様のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

広報委員会一同

各地区PR活動に参加して



岩舟地区
館野 栄

岩舟の健康福祉まつりに参加しました。あいにく当日は小雨降る中でのPR活動でした。そのためか、例年に比べて住民の参加がやや少ない状況のように思いました。私は事業所の職員と一緒に、チラシ配布や風船作りの手伝いをしました。

次年度のPR活動は、まず第一に地区のシルバー会員の方々に、全員出席を呼びかけておまつりに参加している市民にチラシの配布等をお願いし、さらにできるなら会員募集や自分の仕事の説明などをしてもらう事をこころみてもう一度でしょうか。会員ジャンパーなどを着用すればそれだけでもPRできて、何らかの良い結果を見い出すことができるのではないのでしょうか。今回会場に参加していたり、遊びにきていた会員は約二十人程度いました。



岩舟地区
荒川 智恵子

私は、昨年十月に旧岩舟町が毎年実施している「健康福祉まつり」に、栃木市シルバー人材センターの一員として参加しました。

当日は、あいにくの秋雨の寒い日でお客さんの足が心配されるような日でしたが、南部事業所事務局の方々の事前準備や、親切な配慮と楽しい会話により有意義な時間を過ごすことが出来ました。感謝しております。

この「健康福祉まつり」に参加する目的が「シルバー人材センターのPR活動」と解っていたので、正直いつてはたしてPRになったかなという思いが残りました。ですが、参加することに意義有りです。そして、このような活動を通してシルバー人材センター会員の皆様の気力・活気に圧倒される私でした。皆さん、人生はまだまだの気持ちでこれからも頑張ります。



大平地区
多田 滋

十二月二十五日(土)、産業祭は大平町運動公園で盛大に開催された。開始時間九時半にもかかわらず多くの人で賑わい、十時過ぎには既に野菜を重そうに抱えた家族づれでいっぱいになった。

さて、当シルバーセンターのブースではガラガラポンによるくじ引きを目玉にPR用チラシを配ったがなかなかこちらに足を向けてくれる人がいない。皮肉なことに、当ブースの目の前には大平町商工会によるガラガラポンのくじ引きが開催され、長蛇の列ができています。この差は豪華な景品にあつたようだ。特等グッズニードのペアチケット。これに対しブースは特等ハンドソープ、2等はラップ等である。ところで、あるお客様が「これ無料?」と恐る恐る聞きにきた。無料ならやつてもいいというお客様が多いことに気づき「無料ですよ」と一言声を掛けたところ結構足を向けてくれた。それなら最初から無料の表示をしておけば良かったのかもしれない。



大平地区
谷川 克維

十二月二十五日(土)、大平地区産業祭が、晴天の下実施されました。私が参加したのは、広報委員の役割である、年二回発行の「生きがい」の編集と、もう一つは新規会員入会促進があり、今回は多くの方たちが集う産業祭会場のPR活動を行いました。PRパンフレットやガラポン抽選を準備し、行き交う人たちに呼びかけ、パンフレットを手渡すと同時に、シルバー人材センターへの仕事依頼も合わせてPRしました。

中には入会を希望される方や植木の選定作業や片付け仕事のお礼を頂く場面もあり、シルバー人材センターへの理解を深めて頂く良い機会であつたと感じました。





西方地区
小川 清

十二月十二日・十二月三日、「ま
るつがまつり」「西方どいなかまつ
り」が行われ、私もシルバーセン
ターの一員として、そのイベン
トに参加させていただきまし
た。両日とも好天に恵まれて素
晴らしい一日となりました。

両まつりとも会場の周辺道路は
自動車の通行を閉鎖しての出店中
心の場所として多くの人でにぎわ
いました。シルバーセンターも抽選
会「ガラガラ」で参加しました。大
変人気のある活動でしたが、西方に
ついては駐車場のすぐ脇というこ
とで場所がもう少し分かりやすい
ところ見やすいところが良かった
のに、という意見が多く出されてい
ました。場所を考慮すべきだったと
思う。景品については、ラップ(二等
景品)が少ないなどの意見もあり
ました。まつりというイベントです
るので、子ども達も多く集まること
を考慮して抽選会景品も子ども達
がよろこぶような景品が欲しかつ
たと思います。



藤岡地区
田中 仁

十一月中旬に行われた「ふじ
おか産業祭」に一ブースお借り
して刃物研ぎを出店しました。
曇天で大変寒い日でしたが、
会場は沢山のお客様で終日賑わ
いました。

PR活動は会員の協力も得ま
して同じブースで事業所の用意
したチラシの配布と共に「ガラ
ポン」で抽選を楽しんで頂き粗
品を差し上げました。

一部の来場者は有料と思つた
ようで、最初は少なかつたお客
様も会員の「無料で楽しんで下
さい」の呼びかけにその後は粗
品が足りなくなるほど盛況とな
りました。

何件かの依頼出来る仕事内容
確認と入会の問い合わせがあ
り、とても有意義でした。
今後もこのような企画を催し
て大いに協力したいと思いま
す。



藤岡地区
亀下 清

本年も藤岡産業祭の販売ブー
スの一角を借りてPR活動をす
ることになり、当日は朝から空
模様の怪しいなか、ガラポンの
設置、刃物研ぎ作業の準備をし
ました。

スタート時はお客様も少な
く、PR活動もままなりません
でしたが、時間の経過と共にお
客様も増えました。

当初は、シルバー世代にしばつて
PR活動を進めましたが、思う様
に行きませんでした。

次に子供連れのお客様にも声
をかけるようにして、景品を渡
す時にチラシを配るようにしま
した。

関心を持つて見て下さる方も
ありましたが、活動の難しさを
実感してその日の活動を終了し
ました。

後日、3名の方の入会希望者
がりましたが、この結果を次
にどうつなげるか、課題だと思
いました。



藤岡地区
石崎 高德

自分は主に刃物研ぎをしてお
りましたが、無料抽選で、シル
バーセンターをPR。粗品が足
りないほど盛り上がり、仕事の
内容を聞く人もあり、入会有り
かな? 産業祭のイベント参加
は2回目でありますが、徐々に
PRが広がりつつあります。シ
ルバーセンターの仕事の内容・
請け負いの仕事など、細かく聞
く人もいました。

イベントへの参加PRは今後
も続けていければ良いと思いま
す。





栃木地区
須永 良一

健康まつりの会場でのPR活動に参加しました。天候にも恵まれ多くの市民が来場されておりましたが、シルバーセンター事業に興味を持った市民も見受けられ事業内容を説明しました。抽選や折り紙コーナーにも多数参加され有意義な活動が出来ました。

高齢化社会が進行する中で、「生きがい」を求める市民が潜在していることを考えられ、意識調査などの取り組みも一考と思います。



栃木地区
神山 益子

市民健康まつりのイベントにPR活動で参加しました。チラシ、ティッシュ配布、景品が当たるガラガラくじ。こちらは無料なので人気でした。今後の案として、人数制限で花苗一鉢プレゼント、またシルバーの

人達による襖貼りや障子貼りの実演等、場所が確保できればかなり人目を引き、認知度も上がり、良いPRになると思います。



栃木地区
紺野 美智子

シルバー人材のコーナーで「折り紙教室」をやりました。どうなるか不安もありましたが、折り紙好きな子が結構参加してくれ、中には、とてもレベルの高い子もいて感心しました。折り紙で作った「楊枝入れ」を配ると、折り方を教えて欲しいと、シルバー世代の参加も有り、世間話やシルバー人材の仕事の話もして楽しい経験でした。



栃木地区
萩野谷美恵子

昨春秋に行われた健康まつりに、シルバーのPR活動として参加しました。私達は校庭のテントの中でビラ配りや、ガラガラくじ等を担当しました。小さい子どもさんからお年寄りの方までガラガラを回すのは楽しそうでした。又、今年初めて企画した折り紙コーナーは、きょうりゆうまで折ってしまう子どもさんも来てくれて会員も大喜び。予想以上の大盛況で、「又来年も来てね!」と再会の約束をしたほどでした。又楽しい企画を期待しています。



栃木地区
富島 昭子

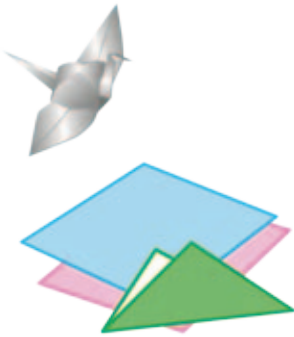
からっ風の吹く寒い日になりましたが、女性委員会の初めてのPR活動に参加しました。「市民健康まつり」を中央小で行い、ガラガラ抽選会では大人



も子どもも楽しんで十一時頃は全て配布しました。

皆チラシを見ながら興味があると見え入会のことや仕事の内容を聞かれ嬉しかったです。二、三年後には旧第一小跡地に移るので皆近くなると楽しみにしていました。

これからも各地域でのイベント参加して大いにシルバーセンターのPR活動を行うと良いと思います。



就業開拓委員会

第1回委員会 平成29年7月6日(木) 12委員出席

【協議事項】

- 1 就業先の開拓、PR活動をどう進めるか
- 2 得意先訪問をどう進めていくか
- 3 独自事業開拓

(栃木市シルバー会員数と就業状況について、優良センターの事例、独自事業の事例等について事務局より説明)

- ・就業開拓を進めて行く上で、例を出すとゴルフ場と同じ世代が楽しんでいる場所へ「仕事」として向かうことに抵抗を感じたり、求められている仕事があんなものかわからない等、疑問点が多数であったので、次回委員会にて発表

第2回委員会 平成29年9月7日(木) 12委員出席

1 どんな就業先を開拓していくか

- ・地元会員が地域の特性に合わせて開拓する。
- ・高齢者の病院送迎等、社会福祉協議会と連携しヘルパー業務の補助的な仕事を開拓する。
- ・空き家管理業務を開拓する。
- ・夏は草刈等の受注が多いが、冬場受注の少ない時期の仕事をどうするか次回委員会の協議事項とする。

2 得意先の訪問をどう実施していくか

- ・コーディネーターを雇用する
- ・チラシ等の内容を見直してもらおう。
- ・現在受注の保全をする。



3 会員が楽しく仲間づくりにもなるような同時事業

- ・次年度実施可能な独自事業を次回委員会にて発表

第3回委員会 平成29年11月22日(水) 11委員出席

1 仕事の少ない冬場の就業先について

- ・刃物研ぎ

- ・仕事の少ない冬場各地域のイベント等で例えばフリーマーカー等が出来ないか次回委員会にて発表する。

2 得意先の訪問(現受注の保全)

- ・お客様満足度アンケートを実施する。

3 植木・草刈をする会員の募集

- ・植木の手入れ、草刈と人手が不足している地域、余裕のある地域の人出を融通しあえないか。又植木屋さんの忙しい時期に草刈の方に手伝って頂く事ができないか意見交換の場で協議する。

福田武吉委員長感想

委員会を通じ、これからのシルバー人材センターのあり方を考えさせられました。協議の中で仕事を開拓しても消化する人が少ないのではないかとこの意見が多くありました。会員が自分の適正以上の就業についてもチャレンジする機会を提供することにより、健康で働く意欲の増大につながり、就業環境の改善など地道な取り組みで会員を増やせればと思います。

総務委員会

第1回 平成29年7月4日（火）市民会館実習室 12委員出席

【協議事項】

1 会員対象パソコン講習会について

・過去2回は初心者向けだったので、もう少しレベルを上げる。

2 センターの運営状況(収支相償による剰余金の解消等)について

・車両が少なく、繁忙期の残滓運搬には苦慮しているので

・ダンプを購入する。台数、配車は理事会に委ねる。

・事業所でチェンソーやバリカンを所有し貸出してほしい。

・広報紙折込み作業の結束機は、部数が多い栃木地区

と大平地区が使用しており老化化により新調する。

3 その他

・規則、規程等の見直しを外部委託して整理する。

・北部事業所は、お客様、会員の利便性を図るため

都賀保健センターに移転を検討する。…など

第2回 平成29年9月6日（水）市民会館児童室

【協議事項】

12委員出席

1 働きやすい職場環境づくりについて

・草刈り用防護網（一人設置用）を用意する。

・個人車、背負式噴霧器などの使用料、残滓運搬時の事故

の補償（示談等手続き）対応を就業会員と協議する。

・草刈り、植木などの職群班規程等を整理する。

・試用草刈機を用意し草刈会員の増加を図る。

・熱中症対策としても連絡所に会員用ウォーターサーバーの設置を

検討する。

・10月1日から栃木県の最低賃金が800円になったので改正する。

・各事業所、事務局で内容を調整し補正予算に計上する。…など



北部事業所

第3回 平成29年12月19日（火）市民会館中会議室 9委員出席

【協議事項】

1 例規の改正について

・職員就業規則、給与及び旅費に関する規程など事務局に関する例

規を全面改正した。

・適性就業基準で就業期間5年を明記するのはメリット、デメリット

トがあり理事会で検討する。

・安全就業基準は、分かりやすく図案化して事業所に貼り出す。

・地域の要望、意見等をセンターに届けるため地域班が必要。

・互助会が地域班に移行すれば良いが、地域の福利厚生事

業(旅行、慶弔、親睦会)は今まで通り地域で行う。

・職群班は、地域によってセンター対応が違っているの

で調整する必要がある。

・植木、草刈班長の意見交換会を開催する。…など

大塚紀通委員長感想

総務委員会は、会員の確保や能力開発、センター業務の管

理運営及び基本計画の実施にすることが主な担当業務で

すが、過去3回の委員会では各委員より活発な意見が出され

ました。

栃木市は少子高齢化が進み人口の約3割が65才以上の高齢

者ですが、ここにかけて高齢者の生活が大変厳しさを増しています。先

細る年金制度、老人医療費の負担増、介護保険の給付見直しなど今後超

高齢化社会の到来を理由に給付金の抑制、負担の増加が懸念されるとこ

ろです。シルバー人材センターは就労を通して高齢者の生きがいとともに

生活費の補てんの意味合いが強まっています。これからどんな社会になる

のか予想がつきませんが、シルバー人材センターは高齢者のセイフティネッ

トの役割を果たしつつ「生涯現役社会」に向けてその存在意義は益々高

まっています。がんばりましょう！

広報委員会

第1回 平成29年7月7日(金)市民会館実習室 9委員出席

【協議事項】

1 会報「生きがい15号」の発行について

- ・編集内容は前回同様の12ページの構成とする。
- ・今後は利用者からの意見・要望、また、感謝の言葉やアンケートを実施して載せるなどを検討

第2回 平成29年8月10日(木)市民会館中会議室 8委員出席

【協議事項】

1 9月発行「生きがい15号」校正について

2 イベント情報・PR活動について

- ・各地区でイベントが開催されるので、広報委員がメインでチラシ配布や抽選会などのPR活動を行う(他女性委員会や就業開拓委員会も連携)

第3回 平成29年9月8日(金)市民会館大会議室7委員出席

【協議事項】

1 9月発行「生きがい15号」第3回校正について

2 イベント情報・PR活動について

- ・事前に活動方法や内容をまとめて来てもらい協議した。
- 3 その他

- ・地域活動助成金について
- ・投稿会員への謝礼について：センターで検討
- ・昨年のイベント時PR活動後の新規入会会員状況を次回報告

第4回 平成29年12月8日(金)市民会館中会議室 8委員出席



1 「生きがい16号」の発行について

- ・アンケートは就業開拓委員会でも年明け実施予定。

2 PR活動後の新規入会会員状況について

3 その他

- ・ケーブルテレビの「おまかせ!1分PR」について
- ・広報紙を綴るファイルの要望あり

第5回 平成30年1月25日(木)市民会館中会議室 8委員出席

1 「生きがい16号」校正について

第6回 平成30年2月8日(木)市民会館中会議室 委員出席

1 「生きがい16号」最終校正について

佐藤銀次郎委員長感想

広報委員会の「広報」はシルバー人材センターの全員に、事業報告・事務的な事等、全てをあまねく報ずることだと思えます。私達の活動は地味ですが、とても大切な委員会だと自負しております。

「生きがい」に掲載される作文は、担当している職務から派生した出来事、感じた事等がいろいろと書かれており、それを読んでとても参考になります。私はそれらを他山の石としていきたいと思っております。

「生きがい」の発行は年2回発行されますが、正直に言って会員の皆様に原稿を依頼するとき、大袈裟ですが、負担を感じることがあります。当然、会員の皆様からの投稿がなければ「生きがい」は成り立たないのです。よろしく願います。

女性委員会

第1回 平成29年7月4日(火) 市民会館実習室 12委員出席

【協議事項】

1 会員対象健康づくり講習会について

・開催場所が栃木だけだったが、栃木と岩舟2ヶ所で開催すれば参加者も増えるのではないか。

2 健康体操教室は、栃木と岩舟2ヶ所で開催 フォークダンスは栃木で開催し時期は前年同様で開催する。

3 女性業務の現状と課題(拡充及び確保)について

・主な女性会員の仕事として、軽度生活支援事業・家事援助サービス・児童等福祉サービスの現状を説明し女性業務が増える方法について意見を求める。

第2回 平成29年9月8日(金) 市民会館児童室11委員出席

【協議事項】

1 デューク更家公認ウォーキングについて

・講師は、デューク更家公認ウォーキングスタイリスト筒深旭人様。日程は、10月6日(金)13:30~15:00
会場は、栃木市市民会館1F「講堂」

2 フォークダンス講習会について

・講師は前年同様全日本フォークダンス公認指導者連絡協議会会長安生忠男様。日程は、11月29日(水)10:00~12:00 会場は、栃木保健福祉センター2階「大会議室」

3 女性会員交流会(お茶会)について

・栃木地区は、4月に第一回目を開催し、第2回目を10月4日(水)に開催。

4 地域イベント(シルバー)PR活動について

・女性委員会でも参加する。

第3回 10月6日(金) 市民会館講堂11委員出席

【協議事項】

1 フォークダンス講習会について

・第2回女性委員会参照

2 女性会員交流会(お茶会)について

・栃木地区は、第1回目が好評だったので、第2回を10月4日(水)「いっちょう」で開催した。29名の参加。

・藤岡・岩舟地区では、合同で来年1月頃企画予定。

平成29年10月6日(金) 市民会館講堂「講堂」

デューク更家公認ウォーキング講習会 30名出席

平成29年11月29日(水) 栃木市保健福祉センター大会議室

フォークダンス講習会 会員15名・友人2名出席

紺野美智子委員長感想

女性委員会では、今年度の体操教室は栃木・岩舟地区の2ヶ所で開催する計画をしました。出来るだけ多くの方に参加して頂けるように計画しました。栃木地区での2回は参加者が少なく残念でしたが、体操の後は、お茶、お茶菓子を用意し輪になって意見交換をし以前配布されたジャンバーの譲り合いをしたり、エプロンは丈や巾を簡単に調整する方法を教してもらい、私も仕事の時に活躍しています。

栃木支部では、女子会(コスモス)を2回開催。沢山の参加者で活発な意見が出ました。一人での仕事が多い女性会員さん。是非皆さんが参加して会員同士知り合いになってほしいと思います。お陰様で私は友達が出来ました。シルバー人材センターに入って一番嬉しい事です。



安全・適正就業委員会

第1回委員会 平成29年7月3日(月)市民会館児童室 13委員出席

【協議事項】

1 平成28年4月から現在までの事故発生の現状と傾向について

・ 傷害22件、賠償28件の事故発生あり。

2 事故防止対策について

・ 人へのけがを負わせた賠償事故が2件発生し、1件は草刈作業による石飛び。特に刈払機による飛散事故防止は徹底させる必要がある。

3 その他

・ 安全適正就業強化月間に合わせて就業先パトロールを実施し、適正就業を推進する。・・・など

第2回 平成29年8月28日(月)市民会館中会議室

【協議事項】

11委員出席

1 安全パトロール結果について

・ 7月に合計28か所のパトロールを行った。特に、

植木手入れ時の安全帯使用と草刈作業時の防護ネット使用は必須であるとの意見で一致した。

2 適正就業について

・ 請負と派遣の違いについて、シルバー派遣の上限時間の緩和(週20時間↓30時間)が知事が指定する職種において実施の見通しがある旨、事務局から説明した。

3 未就業会員対策について

・ 未就業会員を少なくするためにはどうすれば良いか議論を行った。・・・など



第3回 平成29年11月20日(月)市民会館中会議室 10委員出席

【協議事項】

1 事故防止対策について

・ 傷害事故の傾向(ハチ刺され等)と賠償事故の傾向(刈払機による石飛び等)について説明し、事故防止対策を議論した。

2 未就業会員対策について

・ 未就業者がどんな仕事を希望しているか、アンケートを行って具体的な対策を取ったかどうか。

3 その他

・ 斜面地を草刈作業する時のスパイク長靴等の貸与について。・・・など

嶋田安治委員長感想

会員の皆様にとりましては安心して仕事ができることが大事かと思えます。過去の事故発生状況を見ますと、草刈作業での刈払機による石等の飛散事故が多いようです。ちょっとした不注意や過信によるものと思います。本年度も安全・適正就業強化月間が7月1日から31日に実施され、それに併せて地区ごとに安全パトロールを実施しました。真夏の暑いさなかでしたので、ハチによる被害も見受けられました。

安全・適正就業委員会では色々な対策を検討し会員の皆様に周知を図っているところですが、地区の実情による難しさが見受けられましたので、マニュアルの周知徹底が必要と感じました。

未就業会員の対策ですが、栃木地区では仕事が多様ですが、他の地区では少ないので、希望どおりにいかないのが現状であります。

今後は、事務局ともども就業開拓し、会員の皆様が生きがいを持って仕事ができますよう頑張ります。

栃木地区

私の趣味と生きがい



伊沢 孝夫 会員

定年から早10年になろうとしています。定年と同時に始めた民謡の世界にどっぷりとつかって居ります。民謡を通して仲間と月3回の練習をして居りますが、始めた当時は声が出なくなかなか唄になりませんでした。練習を重ねていくうちに声が出るように成ってきたと同時に唄えば唄うほど難しく、奥が深いな...と感じるこの頃です。

現在の楽しみは、ボランティア活動です。月に1回のペースで活動を行って居ります。内容は老人ホーム、デイサービスセンター、地域のふれあいの集いに仲間数人と「生演奏三味線、尺八」で慰問に出かけて居ります。毎回皆さんに喜んで貰って居ります。あの笑顔、生



き生きとした姿がたまりません...。

最後に握手してまた来てねと手を離さない事もあります...感動です。仕事しながらの活動ですが、仕事仲間にも恵まれ、内容を理解して頂いて仕事の日程を変更して貰いながらの活動です。これからも出来る限り続けていきたいと思えます。

生きがい



竹沢 リイ子 会員

去年は、大切な人を相次いでなくし落ち込んでしまいました。シルバー人材センターで、仕事をしながら皆様が生き生き明るく、働いている姿を見て、私も頑張ろうと、勇気付けられ

ました。有り難うございます。

又、様々な仕事に挑戦する事ができたり、仕事先での人との出会いがあり、考えさせられたり、新たな発見があったり、生きがいを感じています。

これからも、シルバー人材センターで仕事をしてらっしゃる皆様や、家族の協力を得て色々な仕事や行事に参加し、人生の楽しみを見つけていきたいと思えます。

最後に、今まで続けて来た趣味の資格を、取得したので、生かすことが出来れば幸いです。そして、心と体が健康であれば、金銭だけではなく、子供孝行にもつながるのではないでしようか。



藤岡地区

心晴れやかに



毛塚 幸明 会員

昨年に、転籍した勤務先で、勤め終了となりました。2、3カ月は、やりたいと思っていた事が、時間に拘束されずにつき、ハッピーでしたが、しだいに時間を持て余し、苦しくなってきました。旧岩舟町にシルバー人材センターに入会してい



る知人がいましたので、仕事の内容を教えてもらい、電話連絡したところ、比較的スムーズに入会する事ができました。

草刈グループでの、8月からスタートとなりました。刈り払い機を使用した事はあるのですが、炎天下の作業はペットボトル3〜4本は必要です。先輩よりこの時期を乗り切れば、続けられるとの励ましの言葉を受けました。

屋外作業は辛い時もあります。四季を感じられる良い面もあります。心労することなく、これから春のそよ風を受けて、安全作業で仲間のみんなと、できるだけ長く勤めたいと思っています。今日この頃です。



大平地区

回顧録



会 員
谷川 克雄

東日本大震災から7年を迎えようとしています。この年に3回のボランティア活動に参加しました。思い出に残る活動を振り返ってみて書きました。

先ず大震災直後の4月、南三陸町へ、道路はやつと通れるものの両端はガレキの山、生々しい傷跡を目の当たりにして避難所である体育館へ着き、早速炊き出しを開始、当日は雨が降り寒い日、用意して来たけんちんうどんとちらし寿司を五百食、温かい食べ物や日本酒、缶ビールを配布、余程嬉しかったのか帰るときには、手を振って見送ってくれたのが印象に。

6月には、女川町へ夏物衣料を50箱、多くの支援者の心を載せてある体育館に到着、表のご

み置き場は銀バエが群れをなして飛び交う中、体育館の中は段ボールで仕切られた僅かなスペースにひしめき合って暮らす姿があり、衣料品は瞬間になくなり、また来て欲しいと喜ぶ姿が印象的でした。

9月には、南三陸町と女川町へ秋冬物衣類を支援者から募り、4tトラック1台分を現地へ、両地区とも仮設住宅の建設も進み始め、社協指定の配布場所も点在し時間はかかったものの、各地区とも被災者の方々の喜ぶ姿が印象に残ります。その後の状況を思案し早い立ち直りを願うばかりでした。

5年が経ったある日、南三陸町の社協より一通の手紙が届き、復興の兆しが見られる姿を見て欲しいとともに、今までボランティア活動に参加してくださった方々への感謝の集いを開催したい旨の招待案内でした。過去3回支援に参加した有志で再び同町を訪れました。震災直後の面影はなくカーナビの指す方向とは真逆な新しい道路や、土盛り地区が広大に続き驚くば

かりでした。会場に着くとボランティア活動に参加された方達で、大きな体育館も満員状態でした。震災直後から継続して数え切れないほどの支援活動をされた方々の報告を聞きますと頭が下がる思いでした。町全体での感謝の集いに参加して、被災者の方々に笑顔で歓迎されたのを見ると、過去3回の活動が被災者の方々へ少しでもお役に立てたのかなと思う次第です。あのような震災体験は自身も二度と味わいたくないと思いきりした回顧録でした。



都賀地区

できる仕事 働ける
職場のある幸せ会 員
手塚 芳江

ある日、「シルバー会員に登録しませんか」の問いかけに「まだ早くないですか」と即答した私は60歳の時でした。

その後暫くして、またお誘いがあり戸惑いながら入会し早6年が過ぎました。その間お世話になった(大正紙器さん・吉野工業さん・つがの里・あいあいプラザ)と作業内容は様々ですが、そこで出会った社員さん、先輩の会員さんの仕事に対する情熱、元氣、意欲をそれぞれの職場で感じたものです。

そのような先輩方について行くには、まず健康であること。体力作りと昨年2月から通い始めたスポーツジムで体力を鍛え、シルバー会員の先輩方の元

気に追いつこうと、今では細々

ではありますが22年目を迎える

自営業をしつつ、週に数回の

パートをしながらシルバーセン

ターからの依頼を受け、主婦業

は勿論のこと忙しい毎日を通じ

ています。とは言えある日ご

住職の講話の中で「忙しい」は幸

せを逃してしまおうと聞き、それ

からは充実した日々を・・・と

言い変えることにしました。

できる仕事がある、働ける職

場があることに今更ながらシル

バー会員登録へのお誘いを頂い

た事に感謝しております。

健康で体力の続く限りお世話

になり充実した日々を過ごして

いこうと思います。



岩舟地区

人とのふれあい

会 員
尾林 守

入会して一年八ヶ月になりま
す。おとしの三月末に郵便局
を定年退職しまして、悠々自適
に生活をしたと思うところで

したが、私には仕送りをしてい
る子供が東京に二人いて、まだ
楽はできません。仕事を探そう
とシルバー人材センターに入会
し、またハローワークにも行き
相談をしていました。そうした
中、シルバー人材センターから
二度目の仕事の話があり、倉庫
での荷物の発送ということでし
た。今までの仕事と類似してお
り、場所も近く勤務時間も融通
が利きます。その仕事に就い
て、以来一年四ヶ月になりま
す。高齢者五人ばかりの職場で
すが、今は気心も分かるよう
になりどうにか勤めています。シ

ルバー人材センターには感謝を
しております。

シルバー人材センターには多
くの会員仲間がいることを互助
会の日帰り旅行や、社会奉仕・
レク活動に参加して知りまし
た。普段はほとんど会うことは
ありませんが、シルバー人材セ
ンターや互助会の活動に出来る
だけ参加をして多くの会員仲間
とふれあい親睦を深めたいと
思っています

また、地域の人との関係も大
切にしたいと思ひ、民生委員・
児童委員の活動をしています。
高齢者世帯の定期的な訪問を通
じて見守りや相談などに応じて
います。ほとんど挨拶や近況に
ついてのお話ですが、時にはご
相談などもあり、それが叶えら



れた時には民生委員にやりがいを感じます。今までの例ですと、足腰の弱い高齢者の方から、玄関に手摺が欲しいという相談があり、手摺を付けて頂くことができました。また、一人住まいで足の弱い方がゴミ出しや買物にいくのが大変だというご相談には週に二時間の介護訪問が受けられることになりました。

こうした高齢者世帯の方のふれあい活動を通じて少しでも地域のお役に立てればと思っております。



会 員
市村 博子

『学童保育で働く人』の
依頼を受け

長期休暇中の補助員として、二年目の夏です。定年後の第二の人生を新たな仕事を通して、楽しんで過ごしている人をテーマのテレビ出演、何気なく受けてしまったが「えっ、私が主

役！」「おこがましいがそうなってしまう！」支援員さん達のお世話になり撮り終えたが、不安が頭をよぎる。そして十一月のある日、子供達の屈託のない笑顔、笑顔の映像にホッと、助けられた時間でした。



西方地区



会 員
小川 清

『楽しかったよありがとう』の
笑顔を求めて

私は今回初めて広報に投稿しました。入会して四年になります。現在西方地区の広報紙を担当し先輩の皆様のご指導をいただきながら頑張っています。五十年間一つの職場で働き続け四

年前に退職、これからは好きな畑作りでもしようかと思っていました。そんな私にシルバーセンターの先輩から「俺達と一緒に仕事してみないか」と誘われました。畑の作業もシーズンが終わればやることもなく家でゴロゴロしているか、テレビとのにらめっこで退屈な日々が続きました。年齢的にも働き続ける事が出来るだろうかという不安もありましたが入会を決意しました。

シルバーセンターの職員さんや、仕事仲間と出会えたことの楽しさそして触れ合いは、今の私の生活の生きがいであります。これからも体を大切にしながら関係するスタッフの皆様との信頼関係を大切に頑張りたいと思っております。

私は現在「西方ふれあいパーク」で仕事をさせて頂いております。西方町の小倉堰のパーベキュー施設です。栃木市内外の広い地域の皆様がお見えになります。「楽しかったよ！来てよかった！ 本当ありがとうございます。」

また来ますから」そういつて笑顔でお帰りになるその姿が私は好きです。そして私自身もその時のやりがいというか自分の仕事に生きがいを感じる時でもあります。

笑顔を求める大切さを忘れずこれからもその生きがいを求めつつ事故の無いように頑張っていきたいと思っております。



統計速報

平成29年度事業実績 (H29年7月～H29年12月)

(金額単位:円)

| 区 分 | 受注件数 | 就業人数 | | 契約金額 | | | |
|---------|-------|--------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| | | 実人員 | 延日人員 | 配分金 | 材料費等他 | 事務費 | 計 |
| 公共事業 | 870 | | 12,805 | 52,770,394 | 5,067,989 | 5,260,306 | 63,098,689 |
| 民間事業 | | | | | | | |
| 企業等 | 1,689 | | 28,218 | 120,684,336 | 6,303,074 | 11,995,694 | 138,983,104 |
| 家庭 | 3,607 | | 12,175 | 55,938,471 | 11,900,515 | 5,594,112 | 73,433,098 |
| 独自事業 | 7 | | 33 | 148,750 | 4,950 | 2,800 | 156,500 |
| 小計 | 5,303 | 40,426 | 176,771,557 | 18,208,539 | 17,592,606 | 212,572,702 | |
| 合計 | 6,173 | 781 | 53,231 | 229,541,951 | 23,276,528 | 22,852,912 | 275,671,391 |
| 前年実績 | 6,067 | 769 | 52,897 | 229,783,679 | 22,926,238 | 22,936,469 | 275,646,386 |
| 増減 | 106 | 12 | 334 | -241,728 | 350,290 | -83,557 | 25,005 |
| 増減率 | 1.0% | 1.6% | 1.5% | 3.8% | 0.2% | 1.0% | 1.1% |
| 公共事業増減率 | 14.6% | | 14.0% | 8.6% | 13.2% | 15.4% | 15.4% |
| 民間事業増減率 | -0.1% | | -3.0% | 2.6% | -1.3% | -4.3% | -3.8% |

事故速報

(H29年度7月～12月)

| 平成29年度7月～12月累計 | 傷害・賠償 | 件数 | 内 訳 | | | | 平成28年度同期累計 | | | | | |
|----------------|-------|----|-------|----|----|----|------------|----|-------|----|----|----|
| | | | 事故の程度 | | 性別 | | 傷害賠償 | 計 | 事故の程度 | | 性別 | |
| | | | 入院 | 通院 | 男性 | 女性 | | | 入院 | 通院 | 男性 | 女性 |
| | 傷害 | 14 | 2 | 12 | 14 | 0 | 傷害 | 16 | 1 | 15 | 15 | 1 |
| | 賠償 | 8 | 0 | 0 | 8 | 0 | 賠償 | 14 | 0 | 0 | 14 | 0 |
| | 計 | 22 | 2 | 12 | 22 | 0 | 計 | 30 | 1 | 15 | 29 | 1 |

事業所別会員数

H29年12月末現在

| 栃木 | | | 藤岡 | | | 都賀 | | | 大平 | | | 西方 | | | 岩舟 | | | 合計 | | |
|-----|----|-----|-----|----|-----|----|----|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 206 | 81 | 287 | 108 | 35 | 143 | 84 | 52 | 136 | 102 | 29 | 131 | 36 | 19 | 55 | 97 | 23 | 120 | 633 | 239 | 872 |